

## 松山空港の利便性向上等に係る調査の結果について

### 1 調査目的

松山空港は「愛媛県の空の玄関口」として来県者などに対し、愛媛県らしさや利便性の高さなど魅力があふれる施設でなければならず、また、令和6年度の松山空港の利用者は、速報値で約307万人と過去2番目に高い利用者数を達成したものの、今後の人口減少に伴う需要減少等を踏まえると、県民のニーズの変化を機敏にとらえた効果的な事業の実施が求められていることから、県民の意向を幅広く取り入れ、愛媛県らしさや利便性をさらに高める事業を実施することを目的にアンケート調査を実施した。

### 2 調査方法

インターネットを利用したアンケート調査

### 3 調査期間

令和7年6月19日（木）～ 6月25日（水）

### 4 回答者数

400人（18～79歳の県内在住者）

### 5 概要

#### 【松山空港の利便性向上】

- ・松山空港がより利便性が高く魅力的な空港になるために必要と思う内容としては、「駐車場の台数の拡充（49.0%）」が最も多く、その他上位の回答としては、「空港までのアクセス向上（47.8%）」、「空港ビル内のサービスの充実（飲食店・土産物店等）（31.8%）」という結果になった。

#### 【松山空港の航空路線について】

- ・松山空港に新規就航して欲しい国内線についてアンケートを行った結果、「新千歳（51.0%）」が最も高く、その他上位の回答としては、「関西（13.5%）」、「仙台（8.0%）」という結果になった。
- ・松山空港の国内路線について認知度のアンケートを行った結果、認知度の低かった路線は「鹿児島（42.0%）」、「中部（24.5%）」であり、全ての路線を把握していた方は41.0%であった。一方、国際路線については、認知度の低い順に「上海（45.5%）」、「釜山（42.5%）」、「台北（31.3%）」、「ソウル（17.3%）」となっており、全ての路線を把握していた方は36.0%であった。

#### 【その他】

- ・松山空港の利用促進に関するその他のアンケート結果として、乗継割引の認知度については、69.3%が「知らない」と回答し、「知っているが制度を利用したことがない」と回答した割合は20.8%であった。
- ・国内旅行をする際の主な情報収集手段としては、「インターネット（旅行会社HP）」からの収集が34.5%と最も多く、その他上位の回答としては、「インターネット（航空会社HP）」からの収集が21.5%、「テレビ」が12.8%という結果になった。